

(別記)

新郷村地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

米・野菜の作付け状況は、野菜価格の低迷の影響及び農家の高齢化等もあり、年々減少傾向となっている。農業が主の新郷村として、地域の特性を活かした作物の本作化・産地化、担い手による農地の集積、生産性の向上と農業の活性化の再生を図ることが重要となっている。

2 作物ごとの取組方針

村内の約700ha（不作付地を含む）の水田において、適地適作を基本として、産地交付金を有効活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

水稲については、地場産米の需要拡大を図るため、食味・品質を重視した米「まっしぐら」の安定生産に努める。平成15年度より無人ヘリコプター2機の防除体制により地域内の一斉防除体制が可能となり、防除効果を高めることにより、減農薬栽培の推進に努める。また畜産の村として有機物が豊富である有利性を生かし、良質な堆肥の投入による土づくりを推進する。耕畜連携の資源循環型農業を確立し、水稲の健全な育成を促進することにより減化学肥料栽培を可能とする取り組みを推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の価格の持ち直しにより、平成29年度は作付面積減（主食用米へ戻す等）が見込まれる。産地交付金を活用し、稲わらの耕畜連携を行い農家の所得向上を図り、合わせて航空防除ヘリコプターを利用した集団防除、疎植栽培、稲わらの鋤き込み、堆肥施用等による土づくり、肥効調節型肥料の全量基肥施用、プラウ耕等による根圏の拡大等により生産性の向上の取組みを推進する。

なお、飼料用米の販売先は、JA系統への出荷を基本とするとともに、栽培技術の向上、収量確保を図る。

また、水田における飼料作物の生産は、飼料自給率の向上や国土資源の有効活用を図る観点からみて重要な取組であり、産地交付金を活用して取組の継続・拡大を図る必要がある。

このため、飼料用米生産ほ場で生産した稲わらを飼料（エサ）として需要者（畜産農家）へ供給する耕畜連携の取組を推進する。

イ WCS用稲

湿田や排水不良田で推奨作物等の栽培ができない圃場に対し栽培を促し、不作付地の増加防止及び解消を図る。稲作農家にとって取り組みやすく、畜産農家にとって高カロリーな良質粗飼料であることから、村内における耕畜連携の推進や作業用機械の導入支援を行い作付面積の拡大を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆の生産は当村の特定農業法人他、土地集積等で生産しているが、天候等

に左右される為、減収及び品質低下が懸念されることから関係機関と連携し栽培管理や適期刈り取り等は指導している。

飼料作物については、地域の銘柄牛への供給拡大をはかり、資源循環としても有効なことから取り組みを拡大する。

(4) そば

地域の実需者との契約に基づき、品質の向上を目指しつつ、地産地消を推進することで栽培面積の拡充を図る。

(5) 野菜・花き・葉たばこ

新郷村での水田転換作物の地域振興作物（重点品目）として、野菜としては作付面積の多いにんにく、ながいも、だいこん、キャベツ、はくさい、ほうれん草、トマト、ミニトマト、きゅうり、やまうど、青さやインゲン、ピーマン、ねぎ、かぼちゃ、まるいも、花き（輪キク、バラ、アスター、カンパニュラ）、葉たばこについて、産地戦略枠を活用し作付面積の維持・拡大を目指す。また、品質の向上と農地集積等によりコスト低減を図り産地化を進めるため、規格の厳守によりJAと連携し、販売体制の強化と販路の拡大により安定生産を目指す。

(6) 不作付地の解消

改善計画と実績算入の不作付地 185.4ha の農地について、関係機関が連携して現況確認を行いつつ、個々に利用推進の指導を進め、飼料用米、飼料作物及び地域振興作物である野菜の作付面積拡大を図り、今後3年間で5haの解消を図る。（平成28年度185.4haを平成31年度180.4haまで解消を図る。）

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成28年度の作付面積 (ha)	平成29年度の作付予定面積 (ha)	平成30年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	244.1	250.0	250.0
飼料用米	26.9	20.0	23.0
米粉用米	0	0	0
WCS用稲	10.1	15.0	15.0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	1.2	1.5	1.5
大豆	1.8	2.0	2.0
飼料作物	120.9	125.0	130.0
そば	0	0.5	0.7
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	54.3	56.2	57.1
にんにく	14.9	15.5	16.0
ながいも	5.4	6.5	6.5
だいこん	6.4	7.0	7.0
キャベツ	1.7	2.0	2.0
はくさい	0.6	0.9	0.9
ほうれん草	0.2	0.3	0.3
トマト	0.9	1.0	1.0

ミニトマト	0.5	0.7	0.7
きゅうり	1.0	1.2	1.2
やまうど	0.5	0.6	0.7
青さやインゲン	0.4	0.5	0.5
ピーマン	2.1	2.3	2.3
花き	2.1	2.2	2.3
葉たばこ	2.0	2.2	2.2
ねぎ	0.6	0.7	0.7
かぼちゃ	0.8	0.9	1.0
まるいも	0.7	0.8	0.9
その他作物	2.7	2.9	2.9
地力増進作物	10.8	8.0	8.0
景観形成作物	0	0	0

4 平成29年度に向けた取組及び目標

取組番号	対象作物	取組	分類※	指標	平成28年度 (現状値)	平成29年度 (目標値)
1	にんにく	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	14.9	15.5
2	ながいも	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	5.4	6.5
3	だいこん	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	6.4	7.0
4	キャベツ	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	1.7	2.0
5	はくさい	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.6	0.9
6	ほうれん草	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.2	0.3
7	トマト	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.9	1.0
8	ミニトマト	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.5	0.7
9	きゅうり	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	1.0	1.2
10	やまうど	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.5	0.6
11	青さやインゲン	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.4	0.5
12	ピーマン	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	2.1	2.3
13	花き	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	2.1	2.2
14	葉たばこ	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	2.0	2.2

15	ねぎ	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.6	0.8
16	かぼちゃ	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.8	0.9
17	まるいも	地域振興作物 の生産拡大	ア	実施面積	0.7	0.9